

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 毎月最終例会 18:00  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 和田正敏  
 幹事 田部井良和  
 会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No.34

## ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

### ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

### きょうの例会

第846回 平成12年 4月 4日(火)

卓話 “it (情報技術) 時代を生きる”

会員 神谷 幹雄君

“はじめましてのご挨拶”

会員 牧野登志子さん

### 先週の記録

第845回 平成12年 3月28日(火)

曇り

#### ◆“それでこそロータリー”

#### ◆出席報告

会員	71(66)名	出席	47名
出席率	71.21%		
前々回	3月14日	(修正出席率)	100%

#### ◆ゲスト紹介

青少年交換学生	ケイティ・ズロムさん
	ケイティさんご家族
青少年交換学生	ルシアナさん
ホストファミリー	日比野栄子さん
セントラル愛知交響楽団	依田 嘉明氏

#### ◆4月会員誕生日

大谷君 (4/1)、池田君 (4/9)、小林(明)君 (4/13)  
牧野さん (4/15)、和田君 (4/28)

### ニコボックス

萩原喜代子さん 3月16日～21日まで名古屋ドームにおいてフラワーショーがありました。私どもエレガントブーケが奨励賞をいただきました。とても嬉しゅうございました。

神谷 幹雄君 皆様ライラセミナーご苦勞様でした。

加藤 大豊君 ライラセミナー大変御苦勞様でした。

小山 雅弘君 実行委員はじめ皆様大変ありがとうございました。

松居 敬二君 二村アドバイザーに感謝!!  
ライラご苦勞様でした。

松島 孝彰君 松居さん打ち上げありがとう。ライラでは皆さん、頑張っていたいただきました。

成田 良治君 ライラ関係役員の方、大変ご苦勞様でした。成功利に終り、心からおよこび申し上げます。  
大口 弘和君 ライラセミナーご協力有難うございました。

秋山 茂則君、伊原 正躬君、三好 親君、本山 孝君、西野 英樹君、佐久間良治君、佐野 寛君、笹野 義春君、鈴木 正男君、田部井良和君、谷口 優君、舎人 経昭君、山田 壽勝君、吉田 節美君、吉田 玄君 ライラ無事終わりました。

池田 隆君、小林 明君、牧野登志子さん  
会員誕生日祝い。

足立 一成君、伊豫田博明君、菊池 昭元君、水谷 祥督君、尾関 武弘君 夫人誕生日祝い。

伊藤 健文君、小坂井盛雄君、黒野 貞夫君、宮尾 紘司君、鷺谷 龍男君、鈴木 理之君、山本 眞輔君 結婚記念日祝い。

水野 民也君 ライラセミナー成功おめでとう。孫の 茂洋がブラジルに無事着いたという便りがありました。結婚記念日祝い。

森 幸一君 皆様ライラセミナーご苦勞様でした。結婚記念日祝い。

和田 正敏君 ライラセミナー皆様ご苦勞様でした。松居さん色々ありがとうございました。会員誕生日祝い。結婚記念日祝い。

中山 信夫君 25日、26日両日ライラセミナーも無事に終了することが出来ました。大谷実行委員長、小山、大口両副委員長をはじめ会員の皆様、本当にありがとうございました。ガバナーからも成功とのお誉めの言葉を頂き、本来でしたら私もスピーチし、お礼申し上げるべきところ、胸が一杯でスピーチでお礼申し上げられそうになくニコボックスを通して、心より皆様の友情に感謝し、お礼申し上げます。結婚記念日祝い。

### 松島国際奉仕委員長より交換学生紹介

3月16日にブラジルから来日したルシアナです。4月からは桜花学園で学ぶことになっております。本人からは、ルーちゃんと呼んで下さいとの事ですので、皆さんも声を掛けて下さい。

## 青少年交換学生 ルシアナさん挨拶

こんばんは

私はルシアナです。ブラジルから来ました。日本語は話せませんが、これから勉強します。私は日本に來れて大変幸せです。ありがとうございます。



会長よりルーちゃんに花束贈呈

## 田部井幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はお残り下さい。
2. ロータリー適用相場1ドル104円が、4月1日より109円に変更されますので、お知らせ致します。

## 鷺谷副会長挨拶

今夜は、塩野七生さんの「ローマ人の物語」をとりあげてみたいと思います。

彼女の作品を最初に読んだのが「イタリアからの手紙」であり、読み終わって感じたことは大変すばらしい而も面白い内容のあるエッセイ集でありました。

それがきっかけで「ローマ人の物語」を読むようになりました。

92年から2006年に向けてローマ帝国興亡の千年の壮大な歴史に取り組み書き続けておるわけです。

私は、ローマ建国の王政から共和政になりそれが帝政と云う様にそれをここで解説する積りはありません。むしろローマ帝国の税制に関しての考察が興味深く感じましたのでその辺をとりあげてお話をさせて頂きます。

ローマ時代の税率は税金を軍役に払うローマ市民を除けば直接税が収入に対して10%相続税は5%でそれも6親等より遠い場合だけです。これら以外は間接税です。

これでまず疑問に思うのはその低率税で何故あの世界帝国を維持することが出来たかと云うことです。

塩野さんは大きく分けて3つの理由があると言っております。

第1は教育と医療を「民活」でやっていたと云う史実。と言ってもただ単に「民活」に頼っていたわけではありません。ローマ帝国の最大の功労者であるユリウス・カエサルが始めて教育と医療に従事するものには肌の色などに関係なくローマ市民権を与え直接税を免除して優遇したのであります。

第2は、中央政府と地方自治体が行うことをはっきり分けて、中央政府の負担をなるべく軽くする。中央政府が行うべきことは、外政と安全保障とインフラ整備と飢え死にさせない程度の社会保障です。あとは地方がすべてやる。ローマ帝国があの大領域を統治できたのは徹底的な中央集権だからであると思うのは大間違いなのです。中央集権だけではあれほどの広いところは統治できません。

当時のローマはEU(欧州連合)の3倍ぐらい広いわけで経済だけでなく政治もやるわけですから従ってローマ帝国は、実は地方分権でもあったんですね。

つまり中央政府のコスト切り詰めに徹底してやったわけです。徴税業務等も民間に委託したわけです。あの時代はインフレもない時代だったから20年位の間隔で国勢調査をやるだけで十分だったのです。そう云うわけであなただけの税金ですよと決めてしまうわけです。だから徴税担当者はただ単に集めるだけなのです。しかもそのうち10分の1を貰えるわけですから儲かるわけです。

もちろん徴税額が多いに越したことはないんだけどそれはあらかじめ決まっているわけです。だから現代の様な納税者と国税庁の駆け引きのような現象は起こり得ないのです。つまりローマは中央政府のコストを切りつめると云う方針で一貫していたんだと思います。

更にうまくいった理由の第3は公共事業費を富裕者からの寄付で賄っていたと云うことですね。ローマの直接税制は非常にフラットでどちらかと云うと間接税中心ですから金持ちは金持ちになる一方でこれを放置しておいては社会不安の種になると云うことで、ではどうしたのかと云うと税金として取るのではなく公共事業と云う形で彼らに吐き出させたんです。

経済と云うのは利潤の追求が最も健全な目的で意欲を削がさず儲けさせてあとから出させようとするんです。

つまりローマでは名誉や権力や経済力に恵まれた人は道路や公会堂、神殿、競技場などの土木建築に投ずることで資産を公共に還元させたわけです。例えばローマの中心だったフォロ・ローマーノにはかつて裁判や商談をするための公会堂が建っていましたがこれらには造った人の名前が冠されています。これを制度化したのが初代皇帝のアウグストゥスだったのであります。彼の右腕と云われたマエケナスと云う人物がおりましてその名前がイタリア語ではメチュナーテと云うんだそうですが今のメセナと云うのはフランス語読みであります。

結論として塩野さんはまとめとして「私は別にローマの歴史が現代日本にそのまま役立つとは思わない。あれから2000年たって進歩している筈です。ただ進歩したことに依って忘れたこともあるのではないのでしょうか。意外ともっと単純で素朴な状態にしている方が人間の社会生活はうまくいったのかも知れない」と言っております。

2000年昔のローマ帝国の税制も参考にして考えても良いのではないのでしょうか。

◆青少年交換学生ケイティ誕生日祝い



4月17日18歳のバースディを迎えるケイティにバースディソングとケーキのプレゼント。アメリカから来日のお母様・お兄様の見守る中、ろうそくを吹き消すケイティ。

友愛の日

◆ファゴット演奏

今月の音楽は珍しい“ファゴット”という楽器をセントラル愛知交響楽団 依田嘉明さんに演奏して頂きました。

ローターアクトクラブよりお知らせ

4月第1例会

日時 4月4日(火) 点鐘 19:00  
場所 名古屋ガーデンパレス  
テーマ 「めぎそう! 100%例会」  
担当 クラブ奉仕委員会

4月第2例会

日時 4月18日(火) 点鐘 19:00  
場所 名古屋ガーデンパレス  
テーマ 「生きることについて No.4」  
担当 専門知識開発委員会

~その他行事~

名古屋昭和RCとの合同例会

日時 4月17日(月) 登録 18:00  
点鐘 18:30  
場所 名古屋東急ホテル

例会変更のお知らせ

- 名古屋昭和RC 4/10(月)6 RC合同例会の為  
4/13(木)ナゴヤキャッスルにて
- 名古屋東RC 4/10(月)6 RC合同例会の為  
4/13(木)に
- 名古屋名東RC 4/11(火)6 RC合同例会の為  
4/13(木)ナゴヤキャッスルにて
- 名古屋名南RC 4/11(火)春の家族会の為、  
名古屋ドームにて
- 名古屋和合RC 4/12(水)6 RC合同例会の為  
4/13(木)に
- 名古屋東山RC 4/13(木)6 RC合同例会の為、  
ナゴヤキャッスルにて
- 名古屋昭和RC 4/17(月)名古屋名城RACとの  
合同例会の為
- 名古屋空港RC 4/17(月)ファミリー例会の為、  
18時~

地区協議会開催間近のお知らせ

(ホストクラブ:西春日井RC)

日時 4月15日(土)  
登録 9:30~10:20  
本会議・分科会 10:30~16:00  
場所 ウェスティン ナゴヤキャッスル

- ◎特別出席者 大谷 和雄
- ◎出席義務者
  - 次期クラブ会長 尾関 武弘
  - 次期クラブ幹事 伊豫田博明
  - 次期クラブ奉仕委員長 鈴木 理之
  - 次期会員増強委員 加藤 大豊
  - 次期職業奉仕委員長 魚津 常義
  - 次期社会奉仕委員長 三輪 康
  - 次期環境保全委員長 松居 敬二
  - 次期国際奉仕委員長 小杉 啓彰
  - 次期新世代兼IAC委員長 二村 聡
  - 次期ローターアクト委員長 山本 眞輔
  - 次期ロータリー財団副委員長 小坂井盛雄
  - 次期米山記念奨学委員長 秋山 茂則
- ◎入会3年未満出席義務者
  - 池森 由幸、神崎 住恵、加藤 重雄
  - 小林 俊幸、水谷 祥督、森 幸一
  - 山田 壽勝、山本 英次 (敬称略)

お知らせ

エレガント・ブーケが  
フラワードームのディスプレイコンテストで受賞

ナゴヤドームにて「花咲かドーム」を総合テーマに3月16日から21日まで、花のディスプレイコンテストを始め多彩なイベントを一堂に集めて盛大に開催されました。

フラワーアレンジメントのデザイナーグループとして「エレガント・ブーケ」は毎年、4小間通しの大型ディスプレイのスペースの提供をうけて作品を展示しています。代表の萩原喜代子が総合企画に当たり、メルボルン・フラワー・アレンジメント・クラスの各教室から参加する研修生が共同のチームを組んで作品の制作に当たります。

今年はテーマを「2000年・花の宇宙」と設定し、制作意図を「2000年は新しいミレニアムの幕開き。かけがえのない地球に花いっぱい咲かせます。」と定めて、スペース全体を宇宙と見立て、黒の背景に地球を一際高く掲げ、これに二つの星座を配しました。



# 第 8 回 ライラ セミナー

第844回 平成12年 3月25日(土)～26日(日) 晴 於：愛知県美浜少年自然の家

**メインテーマ：地域社会とわたし**  
**サブテーマ：わたしのできる環境保全・わたしのできるボランティア**

■ 特別出席者 (22名) ■		(敬称略)	
ガバナー	野村 重彦 (刈谷RC)	ライラ委員長	中山 信夫 (名古屋千種RC)
地区幹事	内藤 耕造 (刈谷RC)	新世代委員	河原 宏 是 (豊田RC)
地区副幹事	神谷 龍 司 (刈谷RC)	ライラ副委員長	加藤 鈴 幸 (豊田西RC)
西名古屋区分ガバナー補佐	岡部 快 園 (名古屋大須RC)	ライラ委員	金子 利 夫 (知立RC)
東名古屋区分ガバナー補佐	坂本 精 志 (名古屋名東RC)	ライラ委員	沢田 侑 (半田南RC)
ガバナーエレクト	福田 清 成 (江南RC)	ライラ委員	横山 邦 晴 (尾張旭RC)
ガバナーエレクト地区幹事	伊藤 鶴 吉 (江南RC)	ライラ委員	中根 啓 弐 (岡崎城南RC)
新世代委員長	坂本 康 信 (名古屋RC)	ライラ委員	林 正 彦 (尾西RC)
新世代副委員長	鶴田 欣 也 (名古屋南RC)	ライラ委員	中村 泰 明 (豊橋ゴールデンRC)
インターアクト委員長	荻本 鐵 夫 (一宮北RC)	次回ホストクラブ会長	勅使河原敦夫 (豊田西RC)
ローターアクト委員長	青木 公 貞 (豊橋RC)	ローターアクト地区代表	樋口 慎 一郎 (名城RC)

◎受講生 76RC 152名 (男性63名、女性89名)  
 ロータリアン 75RC 84名

◎出席報告  
 会 員 71(66)名  
 出 席 56名  
 出席率 84.85%  
 前々回 3月7日 (修正出席率)100%

◎ビジター数(3/21) 99名

◎野村ガバナーによる点鐘で午後1時より開講式が始まり、コラムニストのジョン・ギヤスライト氏の「21世紀は地球が主役！」の基調講演後は受講生がそれぞれの分科会に分かれて活発に意見が交された。6時からの懇親会で、ロータリーバンドの演奏と受講生の岡島朱利さんによるハープ演奏も行われ、見知らぬ者同志のぎこちなさも柔らぎ、雰囲気盛り上げた。

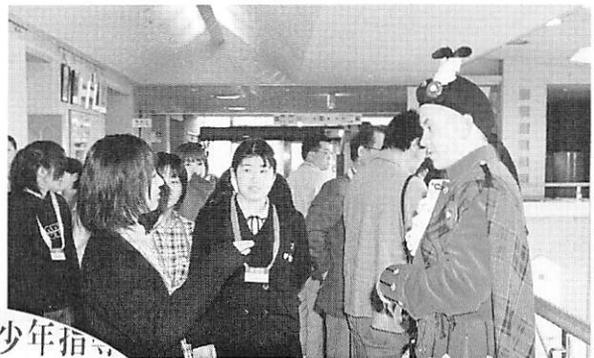
2日目は早朝より参加者全員がラジオ体操にて始まり、9時30分からの討論結果発表会では受講生が壇上に上がりテーマに沿った意見・感想などが発表された。

11時15分より行われた閉講式では野村ガバナーに講評を頂き、全員で“手に手つないで”を合唱し2日間のセミナーを無事終わる事が出来ました。



1つのテーマにそれぞれの討論が行われた各分科会

野村ガバナーによる点鐘にて▶開講式の始まり



ホスト 名氏

講演後、あっという間に受講生に取り囲まれながらも丁寧に応対して下さるジョンさん



受講生も楽しく懇親会に参加



無事に終わり参加者全員の顔にも安堵感が……